



三星元人市長からのメッセージ

[2026年はスポーツ盛りだくさん～いざアジア競技大会へ～]

新しい年度の始まりを迎えました。入学、進学、就職、転勤等、4月は新たな生活環境に切り替わることが多い時期ですね。これといった変化のなかった人も、爽やかな春の空気を胸いっぱい吸い込んで、体を動かし、気持ちをリフレッシュしてみたいでしょうか。

私は高校・大学でサッカーをやっていたが、30年ほど前からジョギングを始め、今でも早朝の矢作川堤防道路を週3～4日ほどのペースで駆け回っています。冬の間は寒風に耐え暗い道をただ黙々と、辛さを意識の底に押し込んで走ります。ですから、徐々に夜明けが早くなり、寒さが緩んでくる2月下旬頃になると、待ち望んだ春が訪れたことの喜びを人一倍感じることができます。そうそう、この時期になると河川敷の雑木の枝で、気の早いウグイスがさえずりを聞かせてくれるんですよ。暁天下の清々しさと季節の移ろいを肌で感じることができる早朝ジョギング、私にとっては至福のときです。

さて、今年はミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピック、ワールド・ベースボール・クラシックに続き、FIFAワールドカップと、世界のスポーツの祭典が続きます。さらに、9月・10月には、第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)及び愛知・名古屋アジアパラ競技大会が開催され、アジア競技大会では、ソフトボールと近代五種の2競技が本市で実施されます。

ソフトボール競技では、現在まで6大会連続で日本代表が金メダルを獲得中です。ここ安城市のソフトボール場で、日本が7連覇を達成してくれることを大いに期待しています。

一方、近代五種は、あまり馴染みがないかもしれませんが、1人の選手がフェンシング、オブスタクル、水泳、レーザーラン(射撃+ランニング)の5つの種目をこなし、総合順位を競うもので、その過酷さから「キング・オブ・スポーツ」と呼ばれています。オブスタクルは、昨年度から馬術に変わって採用された種目であり、テレビ番組「SASUKE(サスケ)」をもとに考案された障害物レースです。オブスタクルに変更された後に初めて実施されるアジア競技大会であるため、初代メダリストの誕生が今から楽しみです。

アジア・アジアパラ競技大会は、オリンピック・パラリンピックに次ぐ規模の国際大会です。アジア・ナンバー1を目指すアスリートたちの熱い闘いを、ぜひ会場でご堪能ください。さあ、スポーツでまちを元気にしていきましょう。



ステージ出演団体も募集します

今年もステージイベント開催！大人も子どもも楽しめるプログラム！

当日自由参加のプロプログラムもあるよ

(株)アイシン所属のトップアスリートが大集結！クインシーズ刈谷/デンソーブライトペガサスも参加予定。

時 5月10日(日)午前9時30分～午後4時30分

※会場により時間が異なります。詳細はQRコード参照。

場 メイン会場→市総合運動公園内

サテライト会場→ららぽーと安城(大東町)

内 選手によるクリニックや体験会を多数開催。老若男女、障がい有無も問わず、“みんな”が楽しめるプログラム多数。元中日ドラゴンズ監督の立浪和義氏トークショーも予定。名古屋グランパスやアシックスジャパンも参加予定。

問 東祥アリーナ安城(☎)75)3535)

